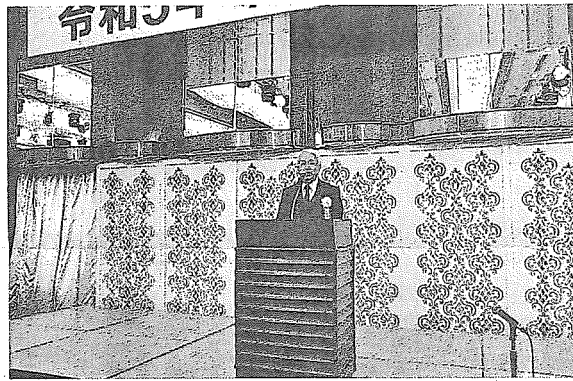


働き方が変化、DX環境整備へ 建コン九州ら建設関連5団体



（二社）建設コンサル
タンス協会九州支部（田
中清支部長）、（一社）福
岡測量設計コンサルタ

ンツ協会（横山巖会長）、
（一社）福岡県地質調査
業協会（香月裕宣理事
長）、（一社）日本補償コ
ンサルタント協会九州支
部（白石陽一支部長）、
（公社）全国上下水道コ
ンサルタント協会九州支
部（松尾禎泰支部長）の
建設関連5団体は13日、

福岡市のANAクラウン
プラザホテル福岡で令和
5年新年賀詞交歓会「写
真」を開催した。九州地
方整備局や福岡県、福岡
市をはじめとする官公庁
からの来賓、および会員
企業の関係者ら約200
人が出席、新春のあいさ
つを交わすとともに、今
年一年が各業界の発展向
上の年となることを祈念
した。

冒頭、主催者を代表し
て建コン協九州支部の田
中支部長があいさつ。働
き方改革や生産性向上等
による取り組みにより、
発注者ともに建設業に関
わる全ての企業で、仕事
のやり方が劇的に変化し
ようとしていることに言
及し、「いわゆるインフ
ラDXを推し進めていく
には、大手企業だけでなく、
中小を含めて全ての
企業が対応できる環境整
備が必要だ」と指摘。そ
の上で「各団体がDXの
推進に係る取り組み等を
開始しているものの、ま
だまだ十分な状況とはい
えない」などとし、各発
注機関の協力や理解等を
求めた。

また来賓あいさつで
は、九州地方整備局の藤
巻浩之局長が、昨年12月
に成立した補正予算で、
同局に約2434億円の
事業費が配分されたこと
などを説明。「不調不落
対策を講じながら、早期
発注に努めていくが、そ
れにより多くの設計や用
地のストックを使用す
る。このため今後、改め
て調査、測量、設計等の
ストックを確保していかな
ければならない」等と
し、各団体の協力を求め
た。